

12月28日：ベトナム証券取引所設立の新決定により、ベトナム株は上昇

首相が新たに国営証券取引所の設立を決めた報道を受け、月曜日のベトナムの株価指数は上昇した。

グエン・スアン・フック首相は証券市場を一元化することと、効率的かつ透明で開かれた公正な取引活動を確保することを目的として、ベトナム証券取引所（VSE）の設立に関する決定 37/2020/QD-TTg を発行した。

3兆ドン（1億3020万USドル）の公的資金を保有するベトナム証券取引所は、ハノイに本社を構え、その全株式を保有する国が有限責任会社の一員として運営する。財務省が筆頭株主になる。

ハノイ市場（HNX）とホーチミン市場（HoSE）は、ベトナム証券取引所が100%出資する子会社になるが、どちらも独立して運営されるだろう。

ホーチミン市場は、主要指標のVN指数が0.64%高の終値1,091.33ポイントで引けた。

同指数は先週1.59%上昇した。

売買高は約7億2,390万株、売買代金は14兆6,000億ドンだった。

大型株に連動するVN30指数は0.20%高の1,054.23ポイントだった。

VN30指数構成銘柄のうち、14銘柄が上昇し、13銘柄が下落した。

「VN指数はほぼ終日上昇を続け、現在1,090ポイントを超えている」（BIDV証券）

「外国人投資家はホーチミン市場とハノイ市場で売り越した。さらに前日に比べ、値上がり銘柄数は増え、出来高は増加した」（BIDV証券）

「我々の見通しでは、VN指数は今後1,100ポイントの節目に向けて上昇を続けるかもしれない」（BIDV証券）

外国人投資家は、ホーチミン市場で3,482億1,000万ドンを売り越し、そのうちホアファットグループ (HPG) 850億ドン、軍隊商業銀行 (MBB) 647億ドン、ビンコムリテール (VRE) 601億ドンだった。ハノイ市場では売買代金で251億ドンを売り越した。

セクター別では全25業種中、運輸、卸売、不動産、IT、エネルギー、証券、ヘルスケア、建材、保険、銀行、ゴム製品といった19業種が上昇。

その半面、食品飲料、水産加工品、小売、建設が下落した。

バオ・ベト・ホールディングス (BVH)、ホアファットグループ (HPG)、ペトロリメックス (PLX)、フーニユアン・ジュエリー (PNJ)、ビンホームズ (VHM) といった優良株に資金が集中した。

ハノイ市場は、HNX指数が2.14%高と終値196.57ポイントで引けた。

売買高は約1億6,540万株、売買代金は2兆3,000億ドンだった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。